

COG2025 応募内容確認書

ID	56-27-1
自治体名	広島県竹原市
自治体提示地域課題	竹原キッズの「地元LOVE」ふるさと冒険プロジェクト【
チーム名	忠海アーカイヴ×DATAKIDS
アイデア名	地域愛をはぐくむ 歴史伝承オープンデータ
チーム属性	市民：市民だけで構成されたチーム
チームメンバー数	3
代表者	新本 直登
メンバー（公開）	新本 直登

【確認事項】

- < 応募のPDFファイル名と送付先 > 確認しました。
- < 応募内容の公開 > 確認しました。
- < 知的所有権・肖像権 > 確認しました。問題ありません。



アイデア名	💖地域愛をはぐくむ 歴史伝承オープンデータ
チーム名	忠海アーカイヴ×DATAKIDS
自治体名	広島県竹原市
地域課題	竹原キッズの「地元LOVE」 ふるさと冒険プロジェクト



マップ出典：[竹原市WEBサイト](#)



[忠海アーカイヴ@竹原市]

郷土史伝承・研究者の新本直登氏がみかん納屋を建築家・学生たちと改修して歴史資料などのアーカイブ、コミュニティの場を実現。

1. アイデアの全体像（What）

1-1. 提案するアイデアのあらまし

「忠海アーカイブ」の歴史伝承活動から生まれた情報や資料を子どもたちと一緒にオープンデータ化することで、子どもたちが地域の魅力を再発見し「自分たちが残した地域の記録」を通じてシビックプライドを醸成する取り組みです。

忠海アーカイブの歴史伝承活動



[炎の神明さん ふるさとを照らす
～竹原市・二窓の神明祭～](#)

（制作著作：広島ホームテレビ
2020年作品）

三次街道（古道）調査結果
ゲンカイツツジ分布調査結果
祭り記録、忠海お寺めぐり
大久野島毒ガス資料 等

資料

調査結果

歴史伝承オープンデータ



- ◆ オープンデータ整備の一部工程（写真撮影、位置情報取得、簡易ストーリー作成等）に子どもたちも参加
- ◆ 「自分たちが残した地域の記録」を通じてシビックプライドを醸成

- **オープンデータ**とは二次利用が可能なルールのもと、**誰でも無料で利用・加工・再配布**できるように公開したデータのこと。
- オープンデータ公開は国や自治体が主導して進めており、民間では公益的な活動を行う民間企業で一部取り組みが始まっている段階。
- フェイクニュースやAIで生成した情報が流通する中、地域住民が集めた資料や調査結果等、**現地の当事者が見聞きしたリアルで精緻な情報**の価値は今後ますます高くなります。

1. アイデアの全体像（What）

1-2. 提案するアイデアの内容（5W1H）

What 何を	How どのように	1. 「忠海アーカイヴ」の歴史伝承活動成果 である資料・情報を棚卸し、デジタル化済みの資料・情報から オープンデータ化 （出典・ライセンスの整理、二次利用可能なライセンスの適用）する。
		2. オープンデータ整備の一部工程 （写真撮影、位置情報取得、簡易ストーリー作成等）に 子ども自身が関わる ことで、地域の魅力を再発見し「自分たちが残した地域の記録」を通じて シビックプライドを醸成 する。
		3. 過去に子供たちと一緒に制作した地図もオープンデータとして整備し、子どもたちが地域を舞台に冒険・挑戦する体験を設計 するための「 共通の地図・土台 」にする。
Who 誰が		忠海アーカイヴ、竹原市、竹原市の子どもたち（株）まちケア、（一社）データクレイドル
Who 誰に		竹原市の今と未来の子どもたち
When いつ		2025年11月 企画とりまとめ 2025年12月 小学校との意見交換 2026年～ 小学校地域防災活動、総合学習等への活用
Where どこで		広島県竹原市忠海地区

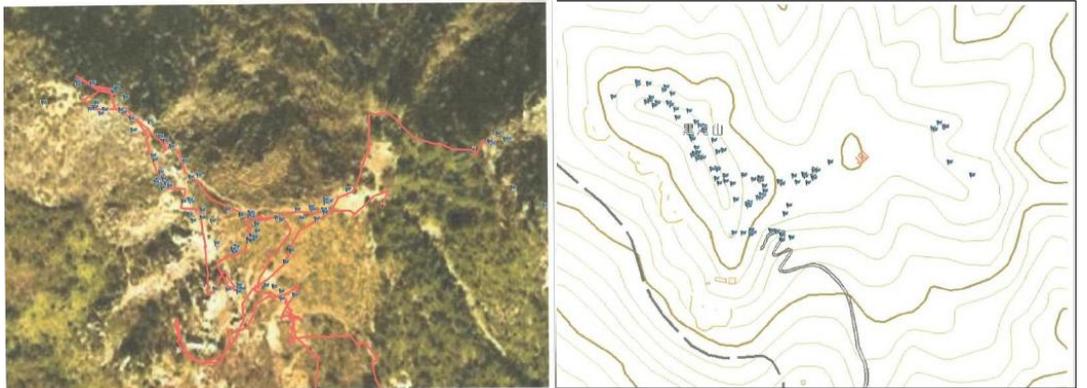
What
何を

忠海アーカイヴの伝承活動

三次往還(古道)の調査・探索!



ゲンカイツツジを天然記念物に!
～GPSを活用して分布・株数の調査～



2. アイデアの理由 (Why)

2-1. 理由のポイント

人口減少、少子高齢化が進展する中で、竹原市においても、出生率の低下や人口の社会減が大きな課題となっており、市では、将来大人になっても竹原に「残りたい」「戻りたい」竹原好きの若者を増やす取組を進めています。

小学校では総合学習で地域の歴史や伝統文化を取り上げ、継承意識の醸成を図っています。

竹原市の課題 = 竹原キッズの「地元LOVE」は、
子どもたちのシビックプライド醸成

シビックプライド (Civic Pride)

まちに対する誇り、愛着及び共感を持ち、まちのために自ら関わっていかこうとする気持ちのこと



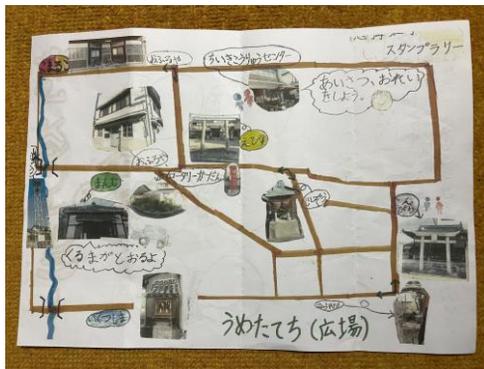
忠海アーカイブの
歴史伝承活動の成果を
子どもたちの地域学習等に
自由に利用できる形で残したい

オープンデータ整備の一部工程に
子ども自身が関わることで、
地域の魅力を再発見し
シビックプライドの醸成につなげたい

2. アイデアの理由 (Why)

2-2. 根拠と裏付け

忠海アーカイヴが支援している小学校の総合学習で、**地域を知ること**で地域への興味・関心が深まることを実感



忠海学園 4 年生が総合学習（忠海アーカイヴが支援）でまちを歩いて地図作りを実施。スタンプラリーのアイデアも生まれました。（2025/11）

≡ YouTube^{JP}

検索



★忠海お寺巡り「本立寺」<https://www.youtube.com/watch?v=dXHjrcr0XE5>

限定公開

忠海学園 6 年生が町内のお寺を調べ地元ケーブルテレビ局の協力で動画にまとめたもの **Youtube限定公開** (2025年8月)

3. 実現までの流れ (How)

1. 実現する主体

忠海アーカイヴ@竹原市

協力：竹原市

技術支援：(株) まちケア
(一社) データクレイドル



2. 必要資源と調達方法

ヒト：小学校、商工団体等との連携

モノ：忠海アーカイヴ調査資料等提供

カネ：地域オープンデータ活用実証事業等への企画提案

3. 実現までのプロセスとスケジュール

2025年	2026年	2027年	2028年
	資料・調査結果棚卸	子どもたちと一緒に補完情報収集	
	オープンデータ整備		
	出典・ライセンス整理	住民発オープンデータ公開	
	子どもたちの地域学習や防災活動への活用		
		体験設計の「共通の地図・土台」づくり	